

平成 26 年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：2014年4月～2015年3月

※今年度の年次報告書は担当者の名前、メールアドレス、添付資料を除き、HP等で公表します。また、ユネスコスクールの質の確保の観点から、報告書の内容が一定の基準に満たないもの、報告書が2年連続して未提出の場合には、ユネスコスクールの認定取消を勧告させていただくことがありますので、あらかじめご了承ください。

1. 学校概要

学校名 多摩市立東愛宕中学校

種別  保育園・幼稚園  小学校  小中一貫教育  
 中学校  高等学校  中高一貫教育  
 教員養成  技術/職業教育  
 特別支援学校  その他 ( )

住所 〒 206-0041  
東京都多摩市愛宕1-52

E-mail : daihyou-higasiatago-chu@city.tama.ed.jp  
 Website : http://www.tama.ed.jp./atagochu/

児童生徒数：男子 90名 女子 76名 合計 166名  
 児童・生徒の年齢 12歳～15歳

2. 担当者 ※公表しません

3. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか ( )

#### 4. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

テーマを「2050年の大人づくり」と定め、人と人、人と社会、人と自然の三つの観点から、①社会貢献活動(ソーシャルアクション) ②キャリア教育 ③環境教育 ④防災教育 ⑤国際理解教育 ⑥ユネスコスクール・地域住民との交流 を行ってきている。特に学んだことを実際の行動や実践で表現すること(アウトプット)を重視し、そのことで地域を変えていく(インパクト)を重視した ESD の取り組みとして、クリティカルシンキングと実践を重視した学習を行っている。

- ・地域の担い手として中学生が伝統的な行事に参加し地域と協働することに始まり、環境問題や防災活動や認知症予防など多岐にわたるよう拡大している。
- ・少子高齢化という地域社会の中にある中学校が、国内外ユネスコスクールとの交流・Web 会議、環境教育・防災教育・キャリア教育・起業活動などをとおして絡み合った社会の課題の具体的な解決への実践と行動を起こしている。特に企業の CSR 活動などの支援を受けて、経済的な視点を取り入れた格差解消の視点や経済活動にシフトしている。
- ・なぜ、地域の学校で学ぶのか?という問いに対して ESD として学校教育で可能な最大限の配慮を行い、地域社会の課題に対して主体的・共働的に解決を図ろうとする中学生の育成を行っている。

(2) 活動時間について(下記から選択して下さい。)

- 通常の授業時間を使用(総合的な学習の時間を含む)
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他( )